



在宅医療は健幸医療

長尾 和宏

医療法人社団裕和会・理事長
長尾クリニック・院長

今日は盛岡市にお住まいの
22歳、女子大生からのご相
談です。



お答えします！

認知症の祖母(79歳)、麺工場を営んでいる両親と一緒に住んでいますが、祖母がタバコをやめてくれず、困っています。私が「体に悪いからやめようね」と言つても「タバコを吸うと気分が落ちる」と言って一向にやめる気配はありません。家族がいる場所での喫煙ならまだよいのですが、家族が寝静まっている時間帯にも起きて吸っている時もあります。いつもお世話をなっている病院からは、禁煙治療は本人の了承が必要で、認知症の人には難しいと言われました。一日中、祖母と一緒にいる両親も、祖母が機嫌よく穏やかに過ごしてくれるのならその方がいいという感じで、最近では祖母に対して何も言わないようになってしましました。両親の気持ちもわかるのですが、やはり祖母の健康や「火の不始末で大事にならたら……」と考えると心配で、なんとか禁煙してもらいたいのですが、なにかよい方法はないでしょうか?

先生にもう一つ質問させていただきたいのですが。これだけさまざまなタバコの健康被害の報告が出ていたり、私たち家族のようにも悩んでいる人がかかるわらず、日本の政府や行政の禁煙、受動喫煙対策の内容は曖昧な言い回しが多く、とても甘いと感じるのですが。調べれば調べるほど、多くの疑問や怒りを感じてしまうのは私だけなのでしょうか。よろしくお願ひいたします。

事の松崎道幸氏は、武漢では生涯非喫煙者に比べ、喫煙経験のある人の重症化リスクが2.19倍、人工呼吸器装着または死亡のリスクが3.24倍であると報告しています。武漢で亡くなつた方の多くが喫煙者でした。たいへん衝撃的なデータですが、日本ではこの事実が報じられています。

そもそも日本は受動喫煙防止を謳ったFCTC(タバコ規制枠組条約)に世界181カ国とともに批准しています。しかし国際条約では、たばこを全面禁止する国姿勢に大きな疑問があります。私は1ヵ月前からコロナ外来をやっていますが、相談の9割が喫煙者です。発熱と咳とタバコが見事に3点セットになっています。この現実に目を背けて、10万円の話ばかりになつていています。この不思議でなりません。本気で死者を減らしてコロナ禍を収束させたいのであれば、タバコを全面禁止にするのがいちばん簡単で効果的です。

コロナの発生源となつた中国のコロナと喫煙に関するデータを紹介しましょう。武漢で重症化した人の喫煙歴を調査したところ、非喫煙者に比べて喫煙歴がある人のオッズ比(疾患などのかかりやすさを二つの群で比較して示す統計学的な尺度)は14でした。日本禁煙学会理

止されていますが、日本だけ違反

貴方が毎日ニコチンパッチを貼つてせめて「減煙」を目指すという方

法があります。主治医やそれを購入する薬局の薬剤師さんとよく相談しながら試してみてください。
あなたも名医!
医師にとっての「地域包括ケア」
疑問・トラブル解決Q&A 60
解説 Q&A 60
【電子版付】

本書を構成する60のクエスチョンは、地域包括ケアを実践する上で起こりうるリアルなトラブルや誰もが迷う素朴な疑問ばかり。それに対し、既に現場で地域包括ケアに携わっている様々な職種のエキスパートが独自の考え方を交えながら丁寧に解説します。

小児や難病患者の地域包括ケア、他職種との連携の実際や効率的な会議の実践例などを幅広く紹介。

論ではない、生々しい主張とリアルな知見に基づいた地域包括ケアの実践書です！

長尾 和宏 (編)
出版社・日本医事新報社
価格・3500円+税

きらめき
+
プラス

Volunteer

2020 July Vol.85



対談 元気がわいてきます
間見 照子×氏家 実美

対談 人生の大きな峠
中嶋 涼子×三代 達也